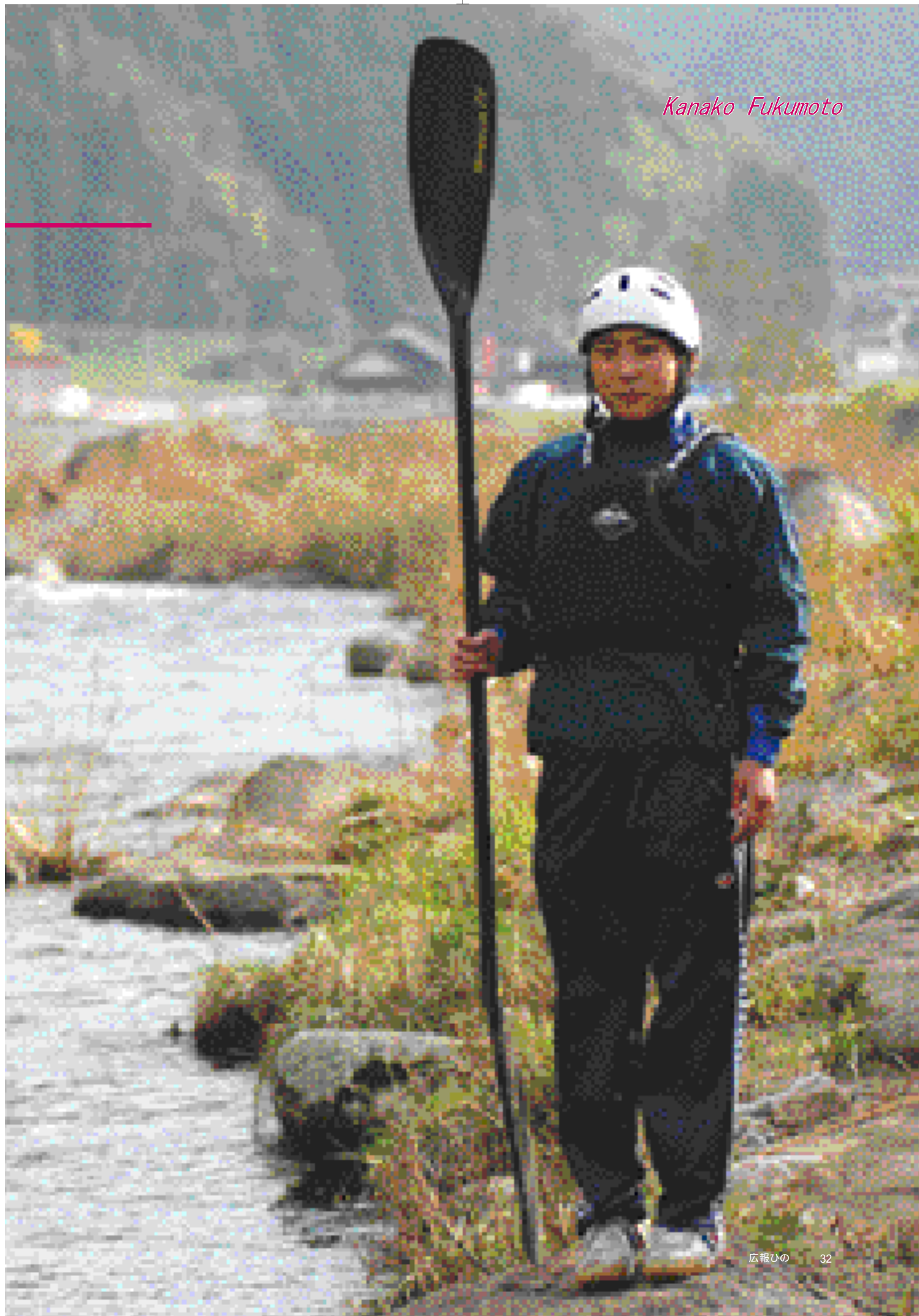


Kanako Fukumoto



登りつめた国体チャンピオンの座は

恩師との約束

Interview きらりこの人 VOL. 8

福本かな子さん（日野高校教諭）

ワイルドウォーター・カヤックシングル

今年の夏季国民体育大会（埼玉県・まごころ国体）、成年女子ワイルドウォーター・カヤックシングルで、悲願の初優勝を果たした日野高校教諭の福本かな子さん。5月には世界選手権に出場するなど、今や日本を代表するトップアスリートです。

今年の夏季国体（埼玉）ワイルドウォーター・カヤックシングル・スプリントで、表彰台の1番高い場所に立つ。

300mのコースを2回下り、合計タイムを競うスプリント。1本目は大きなミスがひびいて4位。優勝の文字は頭になく、2本目は「ミスがなければ順位を上げれる。自然体で挑めました」とタイムを2秒縮めてゴール。最後の選手がゴールするとモニターで優勝を確認した。

悲願の全国制覇を成し遂げた瞬間、天国の恩師へ報告。

「やりましたよ広池さん」

故・広池善博さんとは、競技の先輩、コーチ、監督という強いきずなで結ばれている。よく広池さんから「オレは2位が最高だったから、おまえは1番高い所を目指せ」と言われた。

広池さんは、種目が違うスラロームで世界選手権に出場するなど現役

時代は日本屈指の選手。福本さんは「自分がないものをたくさん持っていたあこがれの人の人。技術、人柄も最高の人でした」と、その大きな背中に少しでも近づきたいと広池さんを目標にしてきた。

しかし、2年前、不慮の事故で恩師はこの世を去った。

悲願の国体制覇。今年の5月には、ドイツで開かれた世界選手権に初出場。福本さんは、今や日本を代表するトップアスリートに成長を遂げた。福本さんに今後の目標を聞く。

「来年の岡山国体で2連覇したい。

さらに上を目指すことが、恩師や応援してくれる人たちへの感謝につながると思うから」

「カヌーは自分を表現できる場所。競技者として勝つ喜びを感じ続けていきたい」

来年3月に世界選手権代表を決定付ける国内戦を控える。そのレースに向けて日々練習に励む。